

皮膚科

1) スタッフの体制並びにその移動

平成 20 年度

今年度は、本田副部長、松島医員とともに常勤医は H19 年度と同様の 3 名とレジデントとして赤木医師、また 8 月よりは、女性医師復帰応援医として週 2 日勤務の非常勤医 1 名の計 5 名体制で診療に当たっており、その内訳／詳細は以下の如くである。

部長	戸田 憲一 (京大 S55 年卒、皮膚科専門認定医 : H13 年 4 月より)
副部長	本田えり子 (大阪医大 H5 年卒、皮膚科専門認定医 ; H17 年 8 月より)
医員	松島佐都子 (京大 H13 年卒 ; H15 年 5 月より)
レジデント	赤木 愛 (広島大 H17 年卒 ; H19 年 9 月より)
非常勤医	中島利栄子 (信州大学 H13 年卒 ; H20 年 8 月より、火、木)

2) 診療実績

外来も前年度と同様、水曜日を除く月曜日から金曜日まで、午前 3 診、午後 2 診体制とし、水曜日は午前 2 診、午後は外来手術を、土曜は午前 1 診で診療を実施している。平成 20 年度における外来患者総数は 35288 人で前年度比、609 人増、入院患者総数は 1997 人で前年度比 100 増となっている。入院患者の疾患としてはウイルスや細菌による感染症が前年同様もっとも多く、難治性皮膚潰瘍、湿疹／皮膚炎群、自己免疫性疾患、腫瘍など、昨年度からの傾向は変わらない。皮膚潰瘍に関しては、従来の薬物療法に加え近赤外線照射や炭酸浴などの物療的療法を加えた多彩な治療を展開している。月に 2 回、木曜日の午後に褥瘡回診を実施している。光線療法としては、PUVA、c-UVB 並びに n-UVB 照射装置を使用している。また保険外診療として、男性型脱毛症 (AGA) 治療、にきびに対するケミカルピーリング、及び陥入爪に対する金属ワイヤー法を実施している。

3) 研究実績等

学会発表

1. 本田えり子、横田日高、松島佐都子、斎藤 晋、塚本達雄、戸田憲一、黒柳能光:同種培養真皮と 3 倍自家メッシュ植皮を併用した calciphylaxis の 1 例;第 107 回 日本皮膚科学会総会、2008/04/19(京都)
2. 赤木愛 谷岡未樹 高橋健造 荒木絵里、宮地良樹、宇谷厚志:点状掌蹠角化症の母子例;第 107 回日本皮膚科学会総会 2008/04/19(京都)
3. 赤木 愛、松島佐都子、本田えり子、戸田憲一:指尖に多発する色素沈着によりビタミン B12 低値が判明した悪性貧血の 1 例;第 407 回 日本皮膚科学会大阪地方会、2008/05/31(大阪)
4. 赤木愛、高橋健造、荒木絵里、谷岡未樹、宮地良樹、宇谷厚志:巣状末端角質増殖症の 1 家族例;第 23 回角化症研究会、2008/08/02(東京)
5. 赤木 愛、松島佐都子、本田えり子、戸田憲一:子宮頸癌を合併した外陰部の好酸球性膿疱性毛包炎の 1 例;第 409 回 日本皮膚科学会大阪地方会 2008/09/20(大阪)
6. 赤木 愛、中島利栄子、松島佐都子、本田えり子、戸田憲一:角質内巻毛症の母子例;第 411 回 日本皮膚科学会大阪地方会 2009/02/14(大阪)
7. 秋野 愛、中島利栄子、松島佐都子、本田えり子、戸田憲一:滴状強皮症が疑われた三姉妹例;第 412 回 日本皮膚科学会大阪地方会 2009/03/21(大阪)

論文

1. 宮本真由美、石川牧子、本田えり子、十一英子：アナフィラクトイド紫斑の経過中に腓癌が発見された1例；臨皮、62巻、p 289-292、2008
2. 平井麻起子、佐々木弘真、本田えり子、十一英子；病変部に結核菌が検出されたバザン硬結性紅斑の1例；皮臨、50巻、p 825-828、2008
3. 赤木愛、松島佐都子、本田えり子、戸田憲一：指趾尖の色素沈着を契機に診断確定しえた悪性貧血の1例；臨皮、63巻、p199-203 2009
4. 赤木愛 谷岡未樹 高橋健造 宮地良樹：シクロスポリンAが奏効した小児毛孔性紅色糝糠疹の1例；臨皮、62巻、p213-216, 2008.3
5. 赤木愛 松島佐都子 本田えり子 戸田憲一：指尖に多発する色素沈着により悪性貧血が判明した1例；臨皮、63巻 p199-202, 2009
6. 赤木愛 松村由美 宮地良樹、宮川文 中嶋安彬 真鍋俊明、小山貴：両側肺門リンパ節腫脹を伴った多中心性細網組織球症の1例；臨皮、63巻、p233-236、2009

著書

1. 戸田憲一：、紅色陰癬、黄菌毛；皮膚疾患最新の治療 2009-2010：瀧川雅浩、渡辺晋一編；p165 2008
2. 戸田憲一：皮膚表在性白癬症の治療；杏茂会 臨床メモ；p1-13、2009